

# 麻布幼稚園だより 5月号

平成27年4月30日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

## 「初めが肝心！」

園長 大島 美知代

5月は緑のきれいな季節です。園庭の桜も若葉をつけ、サクランボも赤く、大きくなってきました。子どもたちは入園、進級し、はや3週間が経ち、幼稚園の生活の流れを覚え、自分の好きな遊びを見付ける姿が出てきています。5月は戸外で遊ぶのがとても気持ちがいい季節です。子どもたちの遊びは園庭に広がり、降園後の4、5歳児の園庭開放もにぎやかになってきました。年少組も保育時間が長くなり、戸外の活動も始まります。

先日、教員全員で園庭の安全点検を行いました。子どもたちが安全に安心して遊べるように、固定遊具遊びの約束を共通理解したり、遊具の種類を検討したり、用具の置き場所を確認したりしました。全員で点検し、今までの経験から、様々な事例から安全について話し合いました。この全員での「安全点検」とそれに関する協議は続けていきます。戸外で遊び始めた今、「初めの指導」が肝心です。

### 「初めが肝心！」

私たち教員は年度初めに一人一人の子どもたちの信頼を得ることができてきたでしょうか。「この先生は自分のことをよく見てくれる、分かってくれる」と思ってくれば、子どもたちは幼稚園で安心して過ごし、自分をのびのびと出し、(いやなことはいやって言えたり、疲れたり、悲しい時は泣いたり、楽しさを感じて笑ったり…) 遊びに夢中になっていきます。担任は一人一人の子どもたちと気持ちを合わせ、心を受け止めて保育することが重要です。

### 「初めが肝心！」

「幼稚園」という社会で、してよいこと・してはいけないこと・今すべきこと等、幼稚園という社会には約束やルールがあります。室内遊びの約束、戸外遊びのルール、食事のマナー、自分のことは自分ですること等、社会生活のルールがあります。本園でも今年度は一つ一つ、なぜいけないのか、なぜ子どもたちに守らせるのか、丁寧に話し合い、みんなで共通理解をしながら指導を進めています。今まで流されていた習慣もありました。このことは教員自身がきちんと改めなくてはいけないことです。子どもたちに守らせるには自分たちも初めに律しなければ、という気持ちです。「初めの時」にきちんと教え、気付かせ、子ども自身にも考えて行動する指導をしなければ、悪い習慣がついてしまいます。

### 「初めが肝心！」

本園は「子どもたちが育つ幼稚園、成長する幼稚園」「保護者・教職員も一緒に学ぶ幼稚園」にしていきたいです。PTA活動もスタートしました。子どもたちの活動もダイナミックになってきます。子どもたちは様々な体験をし、学んでいます。大切な「初め」に接する大人は、子どもの「初め」の体験を丁寧にみて指導していきたいです。

「初めが肝心！」です。「初め」を大切に子どもたちと一緒に歩いていきましょう。